

ひがしそのぎ 議会だより

第161号



(3月31日 第1回やすらぎの里さくらまつり)

3月定例会

平成30年度当初予算	2～3 ページ
議会報告	4 ページ
町政を問う! 7人が一般質問	5～8 ページ
委員会活動報告	8～9 ページ
町民の声・編集後記	10 ページ

平成30年度 特別会計予算

可決

本年度の特別会計の総額は、25億7,315万2,000円（水道事業会計除く）となっています。
（詳細は下記参照）

特 別 会 計 名	平成 30 年度予算	前年度予算比較	備 考
公共用地取得造成事業特別会計	36 万 2,000 円	2 万 4,000 円増	
国民健康保険事業特別会計	12 億 3,130 万円	2 億 9,950 万円減	税率改定を見送り 保険料維持
介護保険事業特別会計	8 億 4,000 万円	6,500 万円減	給付費減少の見込み のため保険料減
後期高齢者医療特別会計	1 億 1,200 万円	850 万円増	今後も保険料の増が 見込まれる
農業集落排水事業特別会計	4,360 万円	260 万円増	集落排水施設更新の ための委託料計上
漁業集落排水事業特別会計	1,100 万円	230 万円増	集落排水施設更新の ための委託料計上
公共下水道事業特別会計	3 億 3,489 万円	506 万円減	公営企業適用化に 向けて研修開始

○水道事業会計（公営企業会計）

収入予定額 2億7,394万6,000円 支出予定額 2億3,897万8,000円
今年度の営業収益については黒字の予定だが、一般会計からの繰入金の比率が高いため、今後、段階的に使用料金の値上げが考えられる。



国民健康保険事業

公共下水道事業

【問】健診受診率アップのための方策は。
【答】70%以上の地区には10万円、前年度比10%増の地区には5万円、5%増の地区には1万円を贈呈するようにしています。

【問】今年度より企業会計移行に向け職員の研修を開始されますが、昨年の様な事が無いようにしてもらいたい。
【答】確約は出来ませんが、研修が活かせるように考えていく。

連合審査での主な質疑

平成30年度一般会計予算

一部修正で可決

(単位:千円)

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	款	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較
議 会 費	69,084	69,253	△169	町 税	714,497	694,812	19,685
総 務 費	626,511	872,979	△246,468	地 方 譲 与 税	55,800	53,490	2,310
民 生 費	1,370,853	1,366,964	3,889	利 子 割 交 付 金	1,200	1,200	0
衛 生 費	366,633	394,037	△27,404	配 当 割 交 付 金	1,200	1,700	△500
労 働 費	10	10	0	株式等譲渡所得割交付金	1,100	2,000	△900
農林水産業費	295,847	316,955	△21,108	地方消費税交付金	140,000	148,000	△8,000
商 工 費	66,299	58,694	7,605	ゴルフ場利用税交付金	6,000	5,600	400
土 木 費	510,546	567,369	△56,823	自動車取得税交付金	11,000	8,200	2,800
消 防 費	173,108	176,815	△3,707	国有提供施設等所在 市町村助成交付金	1,500	1,600	△100
教 育 費	430,178	383,188	46,990	地方特例交付金	2,300	1,800	500
災害復旧 費	1,920	2,561	△641	地 方 交 付 税	1,865,000	1,890,000	△25,000
公 債 費	595,590	663,226	△67,636	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,100	1,300	△200
諸 支 出 金	1	1	0	分担金及び負担金	12,837	15,663	△2,826
予 備 費	9,420	9,948	△528	使用料及び手数料	67,524	72,745	△5,221
歳 出 合 計	4,516,000	4,882,000	△366,000	国 庫 支 出 金	454,722	545,545	△90,823
				県 支 出 金	415,346	435,736	△20,390
				財 産 収 入	15,899	15,874	25
				寄 附 金	54,635	48,222	6,413
				繰 入 金	317,138	566,380	△249,242
				繰 越 金	11,000	60,000	△49,000
				諸 収 入	50,802	48,833	1,969
				町 債	315,400	263,300	52,100
				歳 入 合 計	4,516,000	4,882,000	△366,000



平成30年度当初予算の編成に当たっては、①子育て世代に優しい町をつくり、人口増加を図る、②食事改善と有酸素運動を推進し、健康寿命を延伸する、③重点道の駅を核とした、賑わいのある町を創出する、④負担を次世代に残さない、公共施設最適配置計画を策定する の4項目を重点戦略に置き、また厳しい財政状況に対応するため、一律5%のマイナスシーリングを設定し、総額で45億1,600万円の予算編成となりました。

【議員】工事車両が通行する町道や里道の使用許可条件、工事完了後の条件はどうなっているのか。

また、工事による残土の取り扱い協議は鉄道建設・運輸施設整備支援機構からなのか。

なかった場合は町から残土使用についての申し入れは。

【建設課長】最初に書面で使用したい箇所の申請に伴って現地確認が必要なものについては、現地確認後の許可となる。

工事完了後は現地立ち会いを実施し、原型復旧を原則としている。

残土の受け入れについては10万㎡の内、3万㎡

新幹線工事に用道路は

岡田伊一郎 議員



一般質問 (本稿は質問者の責任で作成しています)

を受け入れて、町道工事の中岳幹線と大野原高原線に使用する計画である。

【議員】里道の舗装や管理は地区で実施されており、町道のように道路法や構造令に基づいたものではない。そもそも大型車両の通行は予測していないのでは。

【建設課長】規格の道路ではないので、予測はしていない。当然幅員も狭く現地を確認し、通行可能な現場であれば協議しての許可となる。

【議員】舗装を保護するため敷き鉄板を敷設しても路肩が痛むのでは。

【建設課長】幅員は2m50ぐらいで2t車の通行が限度だと思うが、敷き鉄板での通行を許可しているの、工事終了後地元、施工業者、町で立ち会いのもと確認する。

希望退職の募集は

【議員】要綱の目的に希望退職者を募り職員の新たな陳代謝を促進し、人事の

情報技術と人工知能の活用は

効率的な運営を図るとなっている。

現在の募集状況はどうなっているのか。

【町長】本来の目的どおり、募集を一定時期にメーイルで行いたい。

【議員】児童生徒の間で、それぞれ理解度の差がある学習を補完するオンライン授業などが予想され、学力の格差防止と教職員の負担軽減につながるのではと言われている。

児童・生徒それぞれの苦手な問題を人工知能が判断し、効率的に学習が進むよう理解度に応じて問題を出題するプログラムも組めると思うが、現状と今後の取り組みは。

【教育長】学習している児童・生徒一人一人に合わせた問題解決方法と、そのために学習しなければならぬポイントを的確にさせてくれる。

人工知能プログラムは新しい教育の形を提示してくれと期待しているが、まだ開発段階である。

千綿女子高等学校園跡地活用事業。800万円効果、未だ見えず

大石 俊郎 議員



【議員】現在、生産法人平田農場進捗状況の現状は。

【町長】農学園跡地活用は、十分出ていない。やってもらえるが、活用出来ない。

【議員】今後、平田農場の継続は期待出来るのか。

【町長】(県との)賃貸契約が今年の5月まで(その後、平田農場に売却)。(平田農場が)融資の返還が出来るのか、非常に危惧している。余り期待持てないと思っている。

【議員】平田農場進出を前提とした800万円の町税投入。その水道管布設工事(444m)は、拙速ではなかったのか。

【町長】公共事業という

のは、タイムリーにやらないとダメです。公共事業の宿命です。

T型集落点検、800万円の価値あったのか?

【議員】T型集落点検(中尾・遠目・西宿・飯盛・金谷)の成果報告、800万円の価値があったとは思われないが。

【町長】「価値があった」と考えている。住民票上の世帯と家族は違うという新たな発想が生まれた。T型集落点検の一番大きな目的(収穫)です。行政には、責任はあるが家族が何かしなければ、この町は無くなりま

す。

【議員】この報告書の地区別まとめに、中尾地区は「嫁の確保が課題」。遠目地区は「コメントなし」。西宿地区は「都市計画の可能性がある」。飯盛地区は「高齢化が進んでいる」。金谷地区は「絶対的若年人口が多いので、安心して住める地域」とあった。このような報告書をどのように評価しておられるのか。

【町長】集落点検は色んな専門家の方が評価する

訳です。私が評価した訳ではない。当然プロの方がしておられます。(この報告書を活用し、評価するのは、町や地域の方なのか?)

【議員】この成果報告を5地区にどのように生かされようとしているのか。

【町長】地域に助言はしますが、「何をするか、誰がするか」はあくまで地域の方です。

何か(町に)期待するのではなく、自分達が何か考えて貰わないと。(考えないと)当然、その地区は消滅します。

【議員】30年度、集落点検の取り組みは、どのように考えておられるのか。

【町長】残り29地区をやりたいけれども、5地区ぐらい考えている。

4月スタートしてから、どこをやるか考えた。職員でやりたいが、時間外(勤務)が伴います。集落点検する能力も(必要)です。(職員の)声を聞きたい。

地域の人の声を聞くというのを第一に考えている。地域に向くというものが基本と思っている。地域に向いて話を聞く。それが私の政治のやり方です。

平成30年度当初予算400万円減額修正で可決!

平成30年度当初予算は、地方交付税の減額など大変厳しい財政状況に対応するため、前年度より3億6,200万円少ない45億2,000万円で提案された。

このうち①写真によるまちづくりプロジェクト委託料400万円②国際交流事業委託料等495万6,000円③いこいの広場センターハウスエアコン取替え工事費61万5,000円については、事業の必要性、費用対効果に疑問があるとの意見が上がり、討論が交わされた。その結果、賛成多数で、①写真によるまちづくりプロジェクト委託料400万円は当初予算から減額され、平成30年度一般会計予算総額は45億1,600万円修正可決された。

賛否表 (修正案に賛成○、反対×)

氏名 修正案	堀	吉永	岡田	前田	口木	立山	浪瀬	森	大石	橋村
①	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
②	×	○	○	×	×	○	×	○	○	×
③	×	○	○	×	×	○	×	○	○	×

①写真によるまちづくりプロジェクト委託料減額

②国際交流事業委託料等減額

③いこいの広場センターハウスエアコン取替え工事費減額

※②、③については賛否同数のため議長裁決により否決

条例制定・一部改正 (全会一致可決)

- ・東彼杵町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例
- ・東彼杵町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ・東彼杵町介護保険条例の一部を改正する条例
- ・東彼杵町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
- ・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ・東彼杵町手数料徴収条例の一部を改正する条例

主な補正予算 可決

- 一般会計補正予算
 - 総務費・旅券用交付窓口端末機器購入費(33万3,000円増)
 - 民生費・施設型給付費(157万8,000円増)
 - 農林水産業費・そのぎ茶啓発情報誌企画構成委託料(250万円増)
- 後期高齢者医療特別会計補正予算
 - 総務費・人間ドック検診補助金(54万2,000円減)
- 公共下水道事業特別会計補正予算
 - 業務費・公共下水道事業資産整理業務委託料(474万円減)
 - 施設費・推進工事費(608万円減)



【議員】長期にわたり施工が続いているが、今後の完成見通しはどうなっているか。

【町長】今回、路線変更の設計が終わったため、一定のめどが立った。事業費ベースで進捗率80%。事業量ベースでは64%。平成34年の完成を見込んでいる。

【建設課長】事業については本年度、修正の設計を新たに計上し、現在は最終の100mの区間について工法の検討を行っている。

全長590mに対し完成延長が380m、64%完成。概ね5年で2億5000万の残事業費となる予定。残り100mの部分を2年間で施工し、国道入りの取付け等の協議を国交省と行う。

木場本線改良工事について

前田 修一 議員



【議員】前回の質問では完成年度が平成32年度になると答弁を受けたが、遅れの原因は設計修正によるものか、又は事業費不足によるものか。

【建設課長】設計を修正したことや、それに伴う変更事項によるもの。

【議員】工期延伸の回数が多いのはなぜか。原因としては財政面の問題が大きかったのか。また、着工当初の設計では問題があったのか。

【町長】土質や地盤が悪かったために修正設計を行い、さらに590mの区間に橋梁が2つあることも繰り越しの原因となっている。

【議員】今回が最終的な設計変更になるとみてよいのか。平成34年で完成するのか。

【町長】あくまでも今の設計が終わった段階で、何年できるか、どういう工法があるか、物価変動がどうなっているかによるが、早く終わる可能性もある。遅くなる可能性もある。

副町長の選任について

【議員】町長の残り任期が

1年となる中で早期の選任をお願いしたい。

【町長】予算を計上しながら、適任者を探している。職員の負担もある為早期に決定したいところではあるが、行政の牽引役が不足しており、残念ながらなかなか見つからない状況である。

【議員】適任者不在なのは、副町長についても報酬が半減される影響があるためでは。

【町長】適任者を探す際に報酬の件には触れていない。満額払うべきと考えている。

【議員】副町長不在のまま次の選挙が行われると、副町長不在の状態がそのまま続くと思われる。

【議員】次の選挙の前に副町長を選任すべきでは。

【町長】現時点で副町長の要請を出している人がいる。副町長を希望する方もおられたが、諸事情によりお断りしている。

【議員】副町長不在で町政は円滑に進んでいるのか。

【町長】必置義務であるため努力しているが、適任者不在の為迷惑をかけていると考えている。

平成三〇年度から
出産祝金増額

森 敏則 議員



【議員】昨年三月の一般質問の折、次世代を担う子どもを産み育てる保護者への支援こそが、少子化対策に効果があるとして、町の施策を求めました。

早速、来年度から、出産祝金の増額予算措置は、評価するものであります。

今後更に、第一子・第二子の育児報奨金についても支給すべきと考えるが所見を伺う。

【町長】平等の原則から第一子・第二子に対しても、育児報奨金の支給は、子育て世代への励みとなるので検討したい。

	平成 29 年度			平成 30 年度から		
	出産祝い金	育児報奨金	合計支給額	出産祝い金	育児報奨金	合計支給額
第 1 子	10万円	0	10万円	10万円	0	10万円
第 2 子	10万円	0	10万円	15万円	0	15万円
第 3 子	20万円	10万円	30万円	20万円	10万円	30万円
第 4 子	20万円	10万円	30万円	30万円	10万円	40万円
第 5 子	20万円	10万円	30万円	40万円	10万円	50万円

※育児報奨金は、町内で出生した第3子以上のお子様、満1歳に達した時に10万円を贈ります。

【議員】返納者を含め高齢者の移動支援として、各地区単位で、運転を手伝う人を、町が指定し登録する制度を構築できないか。

【町長】家族構成と地域の点検等を行い、地域協議会の構築に向けて研究したい。

免許が無い高齢者の移動手段は

【町長】町全域にバス運行は不可能。家族・近隣の人が頼りとなる。将来の買い物は、通販とかコンビニの宅配等になると思われる。

買い物（病院）
難民の対応は

【町長】高齢者の運転免許返納者への優遇措置は考えていない。

高齢者の運転免許返納優遇は



【議員】病児・病後児保育については連携をしない予定だがその理由は。

【町長】特に理由はありませんが、今後、佐世保市へ通勤している方の需要があるようでしたら検討したいと思う。

【議員】図書館相互利用サービスの利用人数はどの程度を想定しているのか。

【町長】全く分かりません。私もこの事については連携しなくてもいいと思っています。

障害者福祉の現状と今後の施策は

吉永 秀俊 議員



【議員】身体・知的・精神障害、それぞれの手帳を交付されている方の現在の人数は。

【町長】知的障害者125名、身体障害者513名、精神障害者53名、合計691名である。

【議員】介護認定者460名と比べ、これだけ多くの障害者が、町内におられることはあまり知られていない。個人情報関係もあると思うが、町全体で支援をしていくべきと思う。

【町長】民生委員さんには名簿を渡しているが、区長は知らないと思うので、今後は情報の共有をしてサポート体制をしっかりと作って行きたい。

【議員】「障害者総合支援法」の改正で、4月から就労に伴う生活面の課題

に対応するための、事業所・家族との連絡調整等の支援（就労定着支援）の計画は。

【町民課長】現在、就労移行支援1名であるが、支援センター「エール」に3名を上限として、就労定着支援の委託計画を作成している。

【議員】発達障害児・重度障害児の現状と、4月からの、居宅訪問サービスによる児童発達支援の計画は。

【町民課長】現在、発達障害児7名、重度障害児1名であるが、居宅訪問サービスについては保健士、保育園、県と協議して検討中である。

【議員】手話、触手話、点字などのコミュニケーション支援の中で、せめて手話ができるボランティアや町職員の養成はできないか。大村市や川棚町にはいらつしやるが。

【町長】町民の中にはいらつしやるが、職員にはいないので、若い職員に研修をしてもらい、講演、催物で活用したいと思う。



常明園跡地の「ロハスの郷」事業はなぜ2年で頓挫したのか。

【議員】事業費と改修費の総額は。誰の発案で、なぜ失敗したのか。

【町長】約2200万円だが、施設は残っている。全額は無駄ではない。私の発案であるが、NPO法人の経営者が代わり、まったく経営ができなかった。

【議員】今後の跡地利用の計画は。

【町長】厚生省の許可が必要だが、常明園とも協議して、バイオマス関連の事業を計画している。

T型集落点検が済んだ地域へのフォローアップは！

町は持続可能かを確認しただけで何をするかは地域が考えること

町長

立山 裕次 議員



【議員】29年度3地区においてT型集落点検を行うとしていましたが、どのような形で行ったのか。

【町長】大音琴・木場・東宿地区を行う予定でしたが、今回は自治会加入率が低い地区に経験のある職員を派遣して行った。

【議員】前回点検を行った5地区について、町として何か行ったのか。

【町長】地域の状況が分かったのだから後は地域の方々が考える事です。町が何かを行う事はありません。

【議員】前回点検した地区の資料は個人情報情報も含めどうなっているのか。

【町長】町に保管してあると思う。

【まちづくり課長】地域の皆さんに書き込んで頂いた資料には名前等はなるべく年齢や家族の住んでいる場所しかわからないので、トクノスクールに管理をお願いしている。

29年度のT型集落点検の実施状況と前回行った地区へのフォローは

西九州させば広域都市
圏協議会の内容は

委員会活動報告

総務厚生常任委員会

★総務課、まちづくり課、町民課、健康ほけん課が管轄の委員会です。

①介護老人保健施設「さざなみ」 (1月26日)

入所者は91名(定員100名)で町内在住者は40%、自己負担と利用料は介護度と所得段階で3万5千～8万5千円程度であるが、6万円前後の入所者が最も多いそうである。看護師、介護士不足が現在の課題であるとのこと。

②特別養護老人ホーム「もみの木荘」 (1月26日)

原則、要介護度3からが入所条件で、現在は満床(定員50名)で5名が入所待ちである。デイサービスの定員は30名だが1日平均は16名と減少傾向にある。事業開始から25年が経ち、この間、雇用は町内が最も多く、地域貢献(寄付、催し物参加など)もされている。

③サービス付き高齢者向け住宅「のんの」 (1月26日)

28年6月入所開始で、現在24室の内21室に入居(町内17名、川棚町4名)されている。一部屋21㎡～27㎡まで6タイプの部屋があり、家賃・共益費・食費など月額合計12万円～14万円、入居者平均は、85歳である。

④農産加工センター (2月19日)

昭和46年に中央幼稚園として建設され、平成4年から農産加工センターとして利用されていたが、2階天井の崩落がひどく、危険な状態にあり、外見上も老朽化が進んでいる。早急な解体が必要と思われる。



産業建設文教常任委員会

★農林水産課、水道課、建設課、教育委員会が管轄の委員会です。

○中学校統廃合に係る進捗状況調査 (平成30年1月19日)

中学校統廃合について、教育長をはじめ教育委員4名、教育次長及び学校教育係長との懇談会を開催した。説明の中で、町内各4小中学校保護者へのアンケート調査が平成28年12月と平成29年8月に2回実施され、1回目の調査では、統廃合についてどう思うかなどを調査し、配布数377件のうち回答率が75%、賛成率80%であった。2回目の調査では、千綿中学校や彼杵中学校を使用して統合中学校を設置する場合、新しく建設する場合など概算金額を示し、統合する場所や時期・通学方法などを調査し、配布数452件のうち回答率が62%、賛成率85%で、アンケート調査の結果を見れば、統合校舎の場所としては、各4校とも彼杵中学校を活用する意見が多く、また時期については、1～2年以内が過半数以上示されている。

今後は、「新中学校設置検討委員会」を設置し、前向きに検討して早期に方向性を見極めたいとのこと。

○きのくに子どもの村学園開校に向けた取り組み

旧音琴小学校に開校を予定されているきのくに子どもの村学園については、現在仮申請の段階で、学校要覧なども含め、長崎県私学審議会等で審議され、結果がよければ3月末から4月にかけて本申請がなされ、平成31年4月をめどに開校を予定されている。

寮は校外を検討されており、学校や器具については、貸与を検討し、学校運営について教育委員会は関与しないとのこと。



浪瀬 真吾 議員



施政方針に対する質問

【議員】地域エリア担当制度の今日までの実績と今後の取り組みは。
【町長】エリア担当の実績はなかなか出てこない。地域と町長部局の連絡調整だから。担当次第ではかなり実績がある。しかし、ほとんどの地区が担当職員を呼んでくれない。【議員】旧音琴小学校に学校法人きのくに子どもの村学園が開校を予定され、寮は校外を検討されているが、土地の斡旋や学校寮までの道路等の整備はどのように考えているか。
【町長】どういった支援ができるかはこれから。
【教育次長】きのくに学園の意向を地権者の方に伝え土地の購入の仲介等の支援を考えている。道路について候補地の打診があった場合は、都市計画の造形についてはアトバ

イスをする。
【議員】そのぎ茶の更なるブランド力向上と新たな販路拡大、消費拡大等に向けた取り組みは。
【町長】茶商、生産者、行政も一緒に差別化を提案した。するなという声もあったが、町全体を上げるために差別化をしなければならぬ。
【議員】ダンチク等の資源を活用したサイレージ化実証試験を実施するとあるが、具体的には。
【町長】耕作放棄地の解消になる。敷料にもなるので実証試験をする。海岸線にしかないのが、資源量も確認をしなければならぬ。畜産農家との連携も重要と考える。
【議員】町内には、ミカンや施設園芸・畜産等があるが都市計画区域等を踏まえた上でどのように考えているか。
【町長】する人がどういう施策をしてほしいか意思表示をしてほしい。
【議員】大野原高原線(谷口～国道まで)と中尾本線の今後の見通しは。
【建設課長】大野原高原線は平成25年度から測量設計に着手しているが国土交通省や公安委員会と協議をする中で、29年3月



に遅れた。用地の水田分の買収を終える予定。墓地については3年ぐらいう要する。中尾本線については、用地、工作物移転補償の契約を進めたい。
【議員】中学校統廃合については、平成30年度中には議会へ統合方針を提案するところがあるが、場所や通学方法並びに費用対効果、将来負担率等を踏まえてどう考えているか。
【町長】教育委員会からは統合の委員会経過の報告はあっている。教育委員会で算定した彼杵中をした場合、千綿中をした場合、新たに建設した場合とあるが、今から検討して行かねばならない。
【議員】施政方針、答弁の重みをどう考えているか。
【町長】施政方針は必ずしなければならないという事ではない。

広報編集常任委員会研修報告

平成30年2月2日 川棚町において3町合同で長崎新聞社販売局NIE・読者ふれあい室長 小林寿人 氏を講師に招いて広報紙づくり講習会を開催しました。市町村会館での恒例になっている研修会と違い、身近な感じがする研修会で、編集体制、企画・構成、編集・デザイン、言語・文章、表紙写真について町民の目線に立ったわかりやすい講習で、次回からの活動の励みになりました。



町民の声

前十八銀行東彼杵支店長 氏原敬博



私は、いわゆる転勤族で、県内10か店転勤し、県内各地の町に住みました。東彼杵町に住んで約3年、他の市町村と比較すると、東彼杵町が非常に、立地、人材、資源等の面で恵まれており、もっと誇りや自信を持っていいのではないかと強く感じます。ではどういうところが恵まれているのか、また、町に活性化について僣越ながら少しお話をしたいと思います。

東彼杵町はもともと長崎街道と平戸街道が交わる交通の要衝。現在も高速道路インターがあり、長崎空港にも近い。

主要産業をみると、県下一のお茶の産地。近年、日本一の称号を得るなど全国区になりつつあり、お茶を切り口としたグリーンツーリズムも浸透しつつある。また、雇用の面では彼杵グリーンテクノパークなどの工業団地も整備され、最先端の航空産業や自動車関連産業の立地もある。近隣には、波佐見町のキャノンや大村の工業団地企業群が通勤圏内にあるなど、男性雇用型の製造業にもアクセスできる。

一方、文化、観光、レジャーといった面でも鯨文化、道の駅「彼杵の荘」、「歴史民俗資料館」、千綿駅の情緒、龍頭泉、坂本浮立、千綿人形浄瑠璃復活。或いは、県外からのUJターンによるカフェ、パン屋さん、美術館、等々も生まれている。

人口の減少が続くのはどこも同じ。しかし、東彼杵町の明るい面に目を向けるとアクセスの優位性はもちろん、活性化の取り組みや、人材、材料、そして資源に事欠かないのが東彼杵。地域のそれぞれが、地の人、移住して来られた方も、当事者として、豊富な人材、資源を生かして、活性化に取り組み、同時に近隣はもちろん、遠方、海外とも連携していくことで化学反応が起こり、活力が湧き上がり、大きなうねりが生まれるのではないかと。そうすれば、若者世代の地元への就労促進等、好循環につながるのではないかと。

東彼杵町の、今後更なる活性化を期待すると共に、地域の金融機関として事業資金等の積極的な融資はもちろんのこと、販売先の紹介、情報提供を通して、東彼杵町の活性化に貢献していきたい。

町民の声 大募集!!

議会だよりへ掲載する町民からの声を募集しています。
ご希望の方は、町議会事務局までご連絡ください。

編集後記

議会広報紙作成に携わり3
回目の春を迎えました。

作成には慣れてきましたが、
住民の皆様には伝わっているのか、
読まれているのかを考えるとま
だまだ自信がありません。しか
し、今回は1年の予算が決まる
ので読んでもらいたいです。

広報紙は住民の皆様が議会
に興味を持って頂く第一歩だ
と思っていますので、今後も視
点等を変えながら発行したいと
思います。

(裕)

議会広報編集常任委員会

委員長 口木俊二

副委員長 立山裕次

委員 吉永秀俊

前田修一

大石俊郎

橋村孝彦